第二回従業員大会に関する動き指令

先月廿五日抜剣事件に依て同志五十名の検束拘留収監者への係と
更に然かも「大会へ行けば解雇だ」の会社側の威嚇を押切って第一回
従業員大会が開かれた事は諸君がよく知つてゐる通りである。その後
工場内の闘争は一切の障害を踏越へて続けられた。職場係会、職場代
表者会議は毎日の様に開かれた。八日はいかが伴立として工場内の「横暴
工長排斥デー」を計画した。正午を期して争ひは燃え上り柄の肉を使して
全工会社の門前に押かけ横暴工長廿八名に面会を申込んだ。工場内
いたるところ正午を期して工長と談判された。九日午後五時工場が「ピケ」
や㊙七十名の従業員が会を出んで自分の職場係会に押かけ、会
社は驚いて警察に「芝浦の職工危険なり」と報じた。狼狽した警
察は千余名のポリスを以て横濱の細川北等動員し㊙従業員を
解散せよと押かけた。が一方芝浦を取まいた争議団は武装して